

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

メビ"テン!"

2021.05
vol.11

TAKE FREE

mebiten.com

ボードゲーム界の女神たち

ゲームの舞台ってどんなところ? [プラハ編]

ふらりカフェ日和

あだちのコラムだYEAH!!!





ふうか @fu_ka2001

ブログ「ふうかのボードゲーム日記」
<https://fu-ka.livedoor.biz/>

2006年よりボードゲームに興味を持ち、ブログ「ふうかのボードゲーム日記」の管理人として、これまでに3500タイトル以上のプレイ日記を公開。その実績によりスモール出版より書籍「ボードゲームって本当におもしろいの？」を出版、またゲームマーケット大賞審査委員を務めた経験を持つ。

- 1 療養休職中の引きこもりで暇を持て余していた私に、夫がすすめてくれた国産カードゲーム（モンスターメーカー）がきっかけでボードゲームの虜に。こんなにおもしろいものがあったのか！という感動は今でも忘れられません。
- 2 子ども向けから大人向けまで幅広い雑食。アクション系は特に好き。
- 3 遊び。夢中になり時間を忘れることができるもの。喧嘩した後の険悪な空気も夢中になって遊んでいるうちに仲直りしてしまう不思議なもの。純粋に楽しむ時だけでなく、ご飯のおかずを決める時にも勝敗で決めたりと生活に馴染んでいるもの。現在は介護中のため月に数回しか遊べず、時間に上限があるので少し悲しい。



すずの
珠洲ノらめる

元ボドゲアイドル。#らめるんの日本全国ボドゲの旅として47都道府県2周を達成。現在はアートワークの提供、ボドゲモチーフで楽曲制作等している。

- 1 シャツツキステが屋根裏の頃にガイスターをしたのが最初で、その後カタンを友人と遊び楽しさに感動。そのまま夜通し遊びました。もともと歌手活動をしていたのですが、Twitterで「ボドゲアイドル募集」を発見し「私がやらなきゃ誰がやる！？」くらいの気持ちで加入。ボドゲに触れる機会がさらに増えました。

- 3 普段の生活を忘れて本気で遊べる自由な場所。私は強い方じゃないけど、頭をふりしぶって勝ちを目指す時間が大大大好き！そんな素敵なかんじに関わることもありますが、これからもボドゲの楽しさを伝えて行きたい。アートワークやイラスト提供も、もっとやりたいですね。

ボードゲーム界の女神たち

男子だけが遊んでいるなんてもったいない！
ボードゲームは老若男女が楽しめるものじゃ。
ボードゲーム界でさまざまに活躍している女性たちを紹介するぞ。

- 1 ボードゲームとの出会いは？
- 2 好きなボードゲーム
- 3 あなたにとってボードゲームとは？



原田みどり

@fuwafuwanokuma

イラストレーター、絵本作家。

2014年よりドイツ在住。

グランディングより2012年の「ひつじがいっぴき」の新装版として今年「ふわふわのくま」発売予定

- 1 私はコンピューターゲーム関連の仕事をしていて、グランディング社が2012年にボードゲーム制作に取り組み始めたまでは、特に詳しくなかったです。
- 2 街コロ
- 3 ボードゲームといえばドイツというイメージを持っている方も多いと思います。私はヨーロッパに憧れていて、その中でもメビウス夫妻が度々来られているドイツに住み始めました。以来毎年エッセンに通っています。エッセンでは多数のボードゲームが広大な会場で展示・試遊されていて、他に木のおもちゃやコスプレ衣装等、幅広く楽しいものがあり、マニアでない方にも楽しめます。2015年には街コロのSpiel des Jahresノミネートで授賞式に同行しました。これも素晴らしい思い出でした。



松永 彩 (HN: まつなが)

@matsunaga_bg
<https://bodoge.hoobby.net/>

ボードゲームの総合情報サイト「ボドゲーマ」管理人として、イベントの企画や新しい機能の設計、日々の運用を担当しています。

- 1 6年前、当時の会社の同期に「人狼が最近面白いよ！」と聞き、渋谷の人狼専門店、人狼ハウスに遊びに行ったのが始まりです。隙間時間に遊んだお邪魔者などのボードゲームが面白く、ボードゲームカフェに通うようになりました。
- 2 ガイアプロジェクトやツォルキン、アルママータなど、がっつり遊べるゲームが好きです。
- 3 ボードゲームは私にとって無限に楽しめる趣味です。私が周りの方のおすすめやレビューによって好きなボードゲームを日々発見できているように、ボードゲームに興味を持った方がお気に入りの作品にたどり着いて、趣味として継続できる仕組みを整えていきたいと思い、活動しています。ボドゲーマはみなさまが投稿してくださるレビューに支えられ発展してきました。2021年2月で5周年を迎えます。これからもご利用をよろしくお願いします。



向山 綾乃 (HN: Chim)

店舗URL: <http://www.boardgame-lab.com/>
店舗Twitter: @BOARDGAME_Lab
個人Twitter: @ayachim0514

大阪中津でボードゲームショップを営んでいるちむといいます。金髪ボブがトレードマークだったのですが最近は赤髪にハマっています。

- 1 当時お付き合いしていた彼氏に『これやってみーひん?』と誘われたのが始まりです。バトルラインを遊んだ時にあまりの楽しさに負けた方が再戦を求めて何度も繰り返し遊びました。お店を始めるまでオープン会には全く行ったことがありませんでしたが、色々な縁がありボードゲームを始め、今に至ります。
- 2 BRASS、ウントチーズ、ミスタークーディヤモンド、マラカイボ、5本のきゅうり、ヴィアネビュラ…めちゃくちゃたくさんあって書ききれないです。それぞれ違った面白さがあるので一番が決まりません。
- 3 今の私を作ってくれた大事なもの、です。ボードゲームと知り合ったから今お店をやっていて、そのおかげで大好きなお客様や仲間たちと出会うことが出来ました。お店をやっているとなかなかボードゲームを遊ぶ時間が取れないのが悩みですが、オススメしたゲームをお客様が楽しそうに遊んでいるのを見るのも嬉しいのでよしとしています(笑)



hiro

@bodogemu

<https://hirobodo.hatenablog.com/>

NY在住のボードゲーマー。サークル「ボドゲーム」広報。その他、実録漫画本・英語フレーズ本・世界のボドゲショップ紹介雑誌を制作。

- 1 2011年に出会ったドミニオンです。(のちにボードゲームと一緒に作る事になる)大学の後輩に勧められてハマリ、その後他のボードゲームも遊ぶようになりました。小学生の頃TCGを遊んでいた事もあり、カード効果でコンボするゲームが特に好きでした。スマッシュアップやキングオブトーキーなどですね。
- 2 そこから10年が経ち、今は「たくさんの要素がバランス良く混ざっている」ゲームが大好きです。最近は「Merv」「Age of Steam」というゲームがお気に入りです。
- 3 「たくさんの"楽しい"を連鎖的に生む趣味」です。制作面では、サークルでのゲーム制作活動継続、ボードゲーム関連本の統編制作に着手しつつ、何か新しい活動ができたら良いなと思っています。遊び面では、アメリカ在住期間が残り少なくなってきたので、ニューヨークでできたゲーム仲間と、時間の許す限りめいっぱい遊びたいです!

ボードゲーム界の女神たち

- 1 ボードゲームとの出会いは?
- 2 好きなボードゲーム
- 3 あなたにとってボードゲームとは?



Brigitte

※日本に交換留学経験を生かして日本語で書いてくれました。

Brigitte Steinhäuser (旧名ベンディアス)、昭和56年生まれ、ドイツのカードゲーム、ボードゲーム出版社アミゴの輸出部に勤め、夫と息子(一年半)とフランクフルトの近くに住む

- 1 ボードゲームはドイツの文化の部分です。三人兄弟で、クリスマスなどにおばさんより一人ずつゲーム一個をもらって、実家は当然にゲームで溢れました。長女として、ゲームルールを説いたり、説明したり私の業務でした。十代にもゲームとRPGよく遊びました。2000年のお正月友達とボーナンザの取引を楽しんで、徹夜しました。二年後、日本で留学した特、豆ゲームをお土産と持って、友達に教えました。(ゲーム輸出の初め?)
- 2 ボーナンザ、ペルトリコ、ウイングスパン
- 3 ボードゲームは人間が恥ずかしいしせず軽い心で遊んだり、笑ったり、理解したり、頭を使ったり新しい経験できる環境を作る。遊びながら他人と仲良くなったり、ただに楽し時間を過ごす事ができる。人をつながったり世界が狭くなる事はボードゲームの魅力です。それに意味がある。もっともデジタルになる世界の中でも、一緒にボードゲームをやりましょう。



藤田 亜紗美

2017年お邪魔者日本大会優勝、世界大会2位。2018年お邪魔者日本大会2位。趣味はギリシャ旅行。普段は「ほぼ日」という会社の編集部で働いています。

- 1 2015年の社員旅行の際に同僚が「ごきぶりポーカー」を持ってきて、徹夜で遊びました。
- 2 お邪魔者、カルカソンヌ、ハゲタカのえじき
- 3 言葉や文化の壁を超えて、世界中の誰もが仲良くなれるツール。普段は違う世界で生きている人たちが、ボードゲームを囲んだ瞬間、昔からの知り合いのように親しくなれるところが好きです。でも単に仲良くなれるのではなく、1戦1戦をいかに本気で戦うか、おもしろさがあると思います。お邪魔者の大会に集まるメンバーも、みんな激しく個性的で、普段何をしているか全くわからない感じがたまらなく好きです。コロナ渦で大勢で会う機会が減ってしまいましたが、必ずまたみんなで楽しめる日が来ることを願っています。遊びましょう!



別府さい

@allotment31

グラフィックデザイナー、イラストレーター。2018年から本格的にボードゲームのアートワーク・日本語版DTPの仕事を開始。仕事をしながら#ボド原旅と称して、全国のボードゲーマーと出会う旅を実行中。

- 1 「ワンナイト人狼」を買ってすごろくやさんのリーフレットを見たことがきっかけです!
- 2 お題あて系、お絵かき系、トリックテイキング、シナリオのあるゲームが好きです。イチオシは「丘の上の裏切り者の館」、今ハマっているのは「アルハンブラ」!
- 3 元々、パッケージやチラシなどのグラフィックデザインを専門にしていましたが、勤め先ではWEBデザインの仕事が主流になっていました。「紙の時代は終わりか…」と悩んでいた頃、私の人生に光をくれたのがボードゲームでした。ボードゲームのおかげでたくさんの人と出会えて友達になれたことも嬉しいです★

ゲームの舞台ってどんなところ?



中央ヨーロッパのチェコ共和国。その首都であるプラハ。今回、そのプラハの魅力をご紹介していきたいと思います。



まず、なんと言っても美しい街並みです。

プラハのシンボルと言えるプラハ城。丘の上に建てられたプラハ城は、世界的な名城として知られるだけに、威風堂々とした佇まい、その美しさも特筆物。夜はライトアップされ、その美しさはより一層際立ちます。

市内の中心部を流れるヴルタヴァ川(モルダウ川)と、数々の橋も見せません。中でもその代表と言える「カレル橋」には、橋の欄干に30体



の彫刻が並べられ、圧倒的な存在感を誇ります。そのほかにも教会や聖堂、火薬庫など、歴史を感じさせる建物も多いのですが、プラハは、街自体の美しさも圧倒的に思えます。ベージュ色の壁に赤茶色の屋根、そして石畳。これぞヨーロッパ!というようなその光景は、ちょっとした街角でもとても美しく絵になります。

美味しい物も忘れてはいけません。

実は、チェコは、一人当たりの年間消費量が世界一というビール大国なのです。

そのチェコには、チェコ風居酒屋といえる「ホスピダ」が街の至る所にあり、どのお店も連日、地元の方を中心大賑わい。各お店の入り口にはその店で飲めるビール銘柄の看板が掲げられています。チェコ料理をとってもリーズナブルな「居酒屋価格」で楽しむことができます。そして、どのお店も美味しい!日本人の口にもすごく合うように思います。

中でも、私のオススメは、チェコ風スープ「グラーシュ」。牛肉とタマネギの入った



さらさらしたシチューといった趣のグラーシュは、チェコの伝統的な茹でパン「クネドリーキ」との相性も抜群。代表的な家庭料理だけあり、毎日でも美味しく食べられます。

アルコールが苦手、いう方にもチェコならではのちょっとおもしろい飲み物があります。その昔、共産主義だった時代に西側諸国に「コーラ」という美味しい飲み物があるけれども入手できないから作ってみよう、ということで出来た「コホラ」という炭酸飲料です。試してみる価値はありますよ。

いやいや、やっぱりビールでしょ!という人は、超有名ビアホール「ウ・ズラテーホ・ティグラ(黄金の虎)」はいかかでしょう?「プラハで(世界で?)最高のビールが飲める」とも言われるだけあり、気付いたら二杯、三杯とジョッキが空になってしまいます。



文化に触れたいという方は、伝統的な娯楽であるマリオネットの人形劇を観たり、ミュシャ美術館やフランツ・カ夫カ博物館を訪れたりはいかがでしょうか。

プラハは、とてもコンパクトな街ですが、沢山の魅力が詰まったとても素敵な街なのです。

そんなプラハを題材としたゲームの日本語版が2021年4月に発売されました。

ゲームデザイナーのスヒー氏はプラハ在住とあって、ゲームボードに描かれたヴルタヴァ川を中心とした街並みには深い思い入れを感じられます。チェコ出身の作曲家スマタナの「わが祖国」(日本では「モルダウの流れ」として歌詞がつけられた)を聴きながら遊ぶと気分が盛り上がりいいかもしれませんね。



プラハ 王国の首都 (Praga Caput Regni)

1~4人 45~150分 12歳~

8,800円(税込)

デザイナー: Vladimír Suchý メーカー: 数奇ゲームズ

Möbius メビウスゲームズ おすすめグッズ

テーマ:気づけば徹夜して遊んだゲーム

ボードゲーム界の女神たちが夜を徹して遊んだゲームをご紹介。

ごきぶりポーカー

2-6人 20-30分

8歳~ 1,800円(税込)

デザイナー: Jacques Zeimet
メーカー: DREI MAGIER

2004年に初版が発売、2008年に日本語版が出版されました。みんなが嫌う害虫8種類のカードを押し付け合い誰か1人負けを決めるゲームです。カードを押し付け合うには巧みなハッタリや大口をたく必要があります。またそれらの言葉がハッタリや大口であるかを見極める力も持ち合わせなければ勝てません。ゲームの進行とともにハッタリや大口は膨らみ、プレイヤーたちは半信半疑な中でカードを押し付けあう駆け引きを楽しむゲームです。言葉で説明するより実際にやってみるのが一番なゲームです。



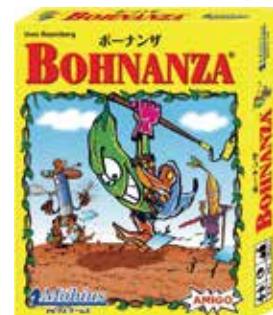
ボーナンザ

3-5人 45分

10歳~ 1,500円(税込)

デザイナー: Uwe Rosenberg
メーカー: AMIGO

初版は1997年、デザイナーのウヴェ・ローゼンベルクを一躍スターダムに押し上げた作品です。当時27歳、若いウヴェは天才的な発想で斬新なシステムのカードゲームを幾つも生み出しています。メビウスおやじは翻訳しながら「天才の言葉を凡人が翻訳するのは苦しそう」と嘆きながらも「やさしい気持ちになれる交渉ゲーム」の言葉をワンポイントセールスとしました。畑にマメを植えて収穫しお金を得る、それだけの事ですが、いま必要なマメ、不用なマメ、私には不用だけれど、彼が必要としている。そんな状況を見極めてお互いがwin-winになる交渉ができる最高に優しい気持ちになれることでしょう。



テンディーズゲームズ おすすめゲーム

ゼロ

3-5人 20分 8歳~ 1,650円(税込)

デザイナー: Reiner Knizia メーカー: テンディーズゲームズ

「手札と場札の繰り返しながら手札の数値を低くしていく」というシンプルな内容を、とても美しいルールで仕上げた一作です。ゲーム本来の駆け引きにフォーカスが当てられたゲーム内容は、夜が深まつ頃、落ち着いた雰囲気で遊ぶのにまさにピッタリ。

バスをする時に「テーブルをノック」というアクションも雰囲気をより一層魅力的なものにしてくれます。ゲームごとの機微を楽しみながら、何ゲームも繰り返し遊ぶのがオススメです。



ラミー17

2-6人 20分 10歳~ 2,200円(税込)

デザイナー: Reiner Knizia メーカー: テンディーズゲームズ

タイトルに入った「ラミー」という言葉からピンと来た人がいるかもしれません。手札から特定の組み合わせを作るように出していく「ラミー系」ゲームは、トランプゲームの一種としても世界中で遊ばれているだけに、誰もが親しみやすく、ついついクセになるゲーム性を持っています。

「ラミー17」は、他の人が捨てた不要カードをもらうことが出来たり、高得点が狙える目的カードがあつたりというユニークさが加えられています。

もちろん、繰り返し遊ぶのにピッタリ!



テンディーズゲームズオリジナル木製コイン

1人 1,980円(税込)

メーカー: テンディーズゲームズ

じっくりと繰り返しゲームを遊ぶ時、得点計算が面倒なことってありますよね?

そんな時にあると便利なゲーム用コイン。テンディーズゲームズでは、オリジナルの木製コインもご用意しています。



ふらり カフェ日和

今回はコロナ禍において新規オープンしたボードゲームカフェに応援も兼ねて行ってきたぞ。

どうしてお店を開こうと思ったのじゃ?

以前、職場と家との往復だけでは窮屈に感じるところが欲しかったんです。そんな時に通っていたのがバーでした。そこで様々な人に出会い、友達もできました。そのような場所を作りたかったのもあります。あとコロナの影響で前の職場を辞めることになってしまって。どうしようかな、と思っていたところ、たまたまこのお店（ボードゲームカフェ）の前オーナーさんが譲渡先を探していたので、もともとボードゲームが好きというのもあり、タイミングが良かったですね。



どんなところが一押しじゃ?

ゲームのタイトルは重量級からライトなものまで幅広く600種以上あります。ただ、ボードゲームをしないで、飲みに来るというのもあります。フライと寄って一杯飲んで気分転換していってほしいですね。



これからも頑張ってほしいのう

フードがあつたらいいなという方のために、ご近所のマティーニバー・ガーランドと提携して、店内から注文して食べられるようになりました。それと先ほどの話（お店を開こうと思ったきっかけ）の延長になりますが、コミュニティハブみたいに、他業種の人たちが繋がれるような場所になるといいな、と思っています。これからイベント等も積極的にやっていきたいです！



10BILLIONPOINT (100億点カフェ)

ボードゲームカフェ&バー テンビリオンポイント

営業時間: 平日 18:00~24:00

土日祝 13:00~23:00

定休日: 火曜日(祝日の場合翌日)

*緊急事態宣言の要請により4月上旬現在においては
営業時間を以下のように変更しています。

平日 16:00~21:00 土日祝 13:00~21:00

〒162-0808 東京都新宿区天神町68-3 橋本ビル2F
(イタリアン ピアッティカステリーナ2F)

10billionpoint.com

料金システム

平日: 30分250円(最大1,500円) + ワンドリンクオーダー制
土日祝: 30分250円(最大3,000円) + ワンドリンクオーダー制
土日祝はお得なセット料金等あり。くわしくはホームページへ。



電車でのアクセス
東京メトロ東西線「神楽坂」2番出口徒歩4分
東京メトロ有楽町線「江戸川橋」2番出口徒歩5分
バスでのアクセス
山吹町バス停徒歩3分
江戸川橋バス停徒歩5分

あだちのコラムだYEAH!!!

アナログゲームマスターのあだち先生です。

アナログゲーム人気もさることながら、
アナログゲームを遊ぶ女性人口もとても増えた気がします。
しかもライトなパーティーゲームではなく
何時間も掛かるようなヘビーゲームを遊ぶっていうね！

実はあだち先生も『ル・アーブル』『パンデミック・レガシー』などの
1ゲームに何時間も掛かって、ルールも複雑なゲームを
女性だけで遊ぶ会を定期的にやってます。

これってすごくオススメ！

この定期的な会は、お喋り6割、ゲーム3割、お菓子1割のゆるさで毎度遊んでいます。
好きなお菓子を持ち寄って、そのお菓子をムシャムシャしながら
いろんな話をしながら、ついでにゲームの手を動かす感じ。
喋り過ぎて、いつも「今は誰の手番？」って確認しながら、あははと笑いながら遊んでいます。

もし、ゲームだけを真剣に遊びたい！と思ってこの会に入ると
たちまち「早く手を動かして！」とイライラするだろうなと思うくらいダラダラゲームをします。
でもこのくらいのマルチタスクするつもりでゲームを遊びのっていいなって思うんです。
これって、気の合う友人だからというのも、もちろんあるでしょうが、
もしかしたら女性ってのがポイントなのかもしれません！

女性ってマルチタスク得意らしいし、こんなマルチタスクならばいつでもウエルカム！

イエー!!!

page10

あだち先生

(あだち ちひろ)

株式会社あだちのYEAH
代表取締役 /
アナログゲームマスター



1児の母。仕事のご依頼を受けるとド派手な
ピンクの衣装に身を包みアナログゲームマスター「あだち先生」に変身！

www.adachi-yeah.in

編集後記

陽気のいい日が多くなりました。とは言えまだまだお家で過ごす時間も長く大切です。最近は冷凍庫の空きスペースを気にしつつ、お取り寄せグッズで旅行気分を味わっています。
「メビテン！」次号は秋の予定です。お楽しみに！
「メビテン！」を置いていただけるお店を募集しています。

mebiten.com

 @mebitengames

mebitengames@gmail.com

編集: メビウスゲームズ、テンディーズゲームズ、長塚美奈子
本書の無断転載・複写ご遠慮ください。